

We love シコチュウ! わたし このまちが 好き!



就任式の様子



初登庁の様子



事務引継の様子

篠原市政がスタート

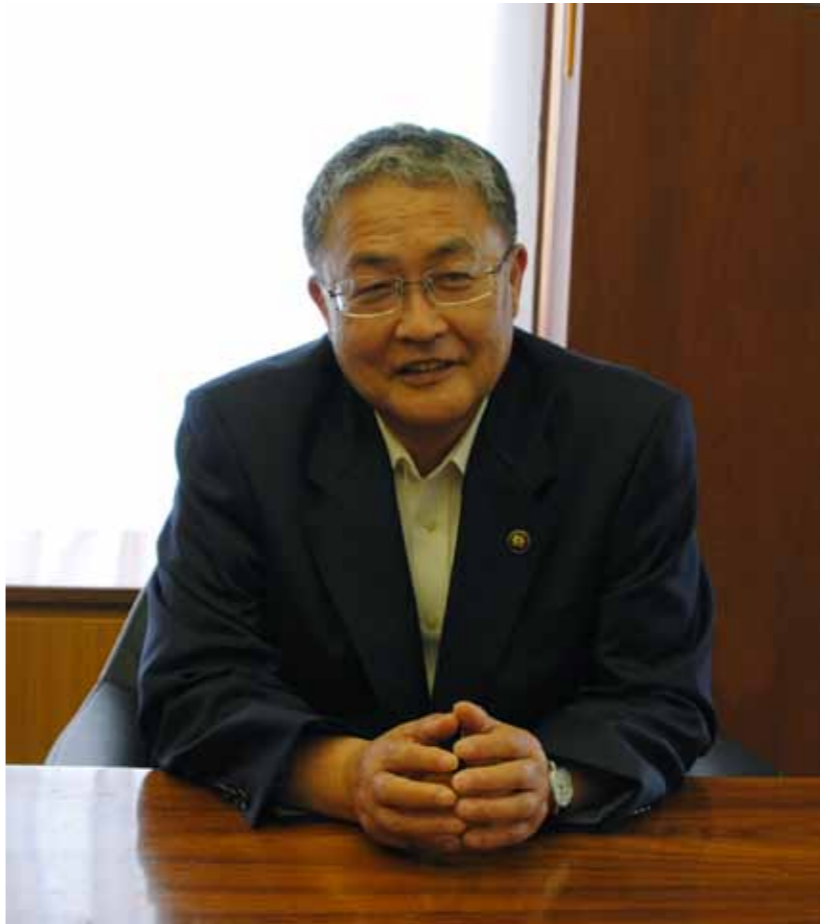
4月30日(火)、約150人の市民や市議会議員、職員に迎えられて、篠原市長が初登庁しました。小雨が降る中、午前10時に笑顔で登庁し、大きな拍手と職員代表からの花束を受けて市庁舎に入りました。

市長室で四国中央市長職務代理者眞鍋副市長より事務の引き継ぎが行われ、篠原市長は四国中央市長の職務に就きました。午前11時から市長就任式が行われ、眞鍋副市長から歓迎の言葉が述べられた後、職員に対して、「人間は誰でもエラーをする。その時にどう対処するのか常に心に秘めて、公務に励んでほしい」と訓示しました。

あったかな四国中央市を目指して!!

四国中央市第2代市長 篠原 実 新市長が誕生

4月21日(日)に告示されました四国中央市長選挙は、4月28日(日)に投票が行われ、新人で前愛媛県議会議員の篠原実氏(63歳)が初当選し、平成16年の合併後、井原前市長に続き、第2代市長に就任いたしました。



市長就任のごあいさつ

このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さまのご信任をいただき、第2代の四国中央市長として市政をお預かりすることになりました。皆さまの期待の大きさを実感するとともに、これからの市政を預かる責任の重さに身の引き締まる思いです。これまでの県議7期の経験と人脈を最大限に活用し、必要な施策は力強く推進しながら、たむぎに、謙虚に、あったかな四国中央市を目指して市政の発展に向け全力投球で、よりよいまちづくりを市民の皆さまと一緒に進めてまいります。

篠原市長の目指すもの

- ① 市政のさらなる進化・発展
現在、多くの市民委員の皆さまの参加のもと、計画素案づくりが進められている「第2次総合計画」につきましては、その素案を十分に検討し、多くの市民の賛同を得ながら具現化させ、着実に施策展開を図ってまいります。
- ② にぎわい拠点づくり
本市のシンボルとなる市民文化ホールの建設を推進するとともに、365日人や文化・芸術が交流し市民に愛される「にぎわいの拠点」とするために市民との協働で開館後の運営方針などを早期に決定します。
- ③ 安心・安全なまちづくり
災害に強いまちづくりを目指し、消防・防災センターを新設し、市民主体の防災力強化と行政機関の適正配置を図り、安全・安心な市民生活に不可欠な水道などのライフラインの保全に一体的な取り組みを行います。
また、防災士の育成や自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図ります。
- ④ 人に優しいまちづくり
発達支援、青少年健全育成や就労支援事業を集約し、障がいや課題のある子どもに対する相談窓口のワンストップ化と、より専門的な支援機能の強化を目指す目的で建設される(仮称)人づくり支援センターの整備を図り、共生社会の実現を目指します。
- ⑤ 地域コミュニティの活性化
弱体化が懸念される「地域力」の再生を目的として、市民と行政とが協働で地域のコミュニティを活性化するための地域コミュニティ計画に基づき、地域力や地域教育力の一層の向上を目指します。
- ⑥ 文化活動の支援
地域文化の振興と文化財の保存継承を目指し、地元出身の偉人・先人を顕彰するとともに、市民文化ホールを核とした文化活動を積極的に支援していきます。
- ⑦ 農林水産業の支援
特産の里芋などの農産物やカタクチイワシなどの海産物を中心とする就農・就漁といった第1次産業の支援やブランド化・6次産業化への積極的な政策を展開していきます。

プロフィール

- 金生町下分在住
- 昭和24年生 (63歳)
- 県立川之江高等学校卒業
- 香川大学経済学部卒業
- 昭和49年
礎工業代表取締役社長に就任
- 昭和62年
愛媛県議会議員に初当選
(平成25年まで7期26年間、県議会議員として活躍)
- 平成18年
愛媛県議会議長
- 平成19年
自民党愛媛県連幹事長
- 平成25年
第2代四国中央市長に就任
- ◆ 趣味 読書やジョギング
- ◆ 信念 額に汗して努力すれば必ず報われる

四国中央市長選挙の結果

候補者名	得票数	備考
島 かつゆき	6,310 票	
しのはら 実	21,068 票	当選
合計	27,378 票	

無効投票数 477 票

当日有権者数	投票者数	投票率
74,632 名	27,855 名	37.32%